

第480 回 三水会便り

10～11 月の予定

New 665回例会 11月20日午後6時30分～ 於/日本山岳会集会室
講師/田中文夫が富士山麓に残る“ロマンと伝説”を紹介

JAC 会員参加可 FREE

富士山麓に伝わる古代の物語を日本山岳文化学会会員/田中文夫さんに紹介していただきます。いまから 2000 年も前の話です。秦の時代の中国に徐福という人がいました。はるか東の海に不老不死の薬があると、始皇帝の許可を得、若い男女5000人を連れて旅立ちました。密かに稲の種や農耕機具・技術を持っていました。日本各地に住み着いたそうです。鹿児島、和歌山、山梨などに多くの伝説を残しています。加えて「丹沢のあれこれ」も。

第664回例会 10月16 日午後6時30分～ 於/日本山岳会集会室

日本隊エベレスト登頂 50 周年記念第 1 弾

エベレスト初登頂検証/ヒラリー卿息子が父の登山を再現

JAC 会員参加可 FREE

来年2020年に日本隊がエベレストに登って50周年を迎える。その記念講演第 1 弾として、世界で初めてエベレストに登った英国登山隊を振り返り、ヒラリー卿の息子が父の登山を再現した映像を観る。30年間に7度の登山隊派遣で登れなかった苦難を検証し隊の人間関係など登山の原点を検証する。解説/神崎忠男(日本山岳会エベレスト隊員、前日本山岳・スポーツクライミング協会会長)。70年日本エベレスト隊のダイジェスト版も。

New 現地集会 秩父観音山 11月17日(日)

西武秩父集合。コース/栗尾バス停～31番観音～観音山牛首峠～倉尾部落。歩程4時間程度、詳細未定。 係り/吉田正隆 050-7300-4314

現地集会 西上州/琴平山と笠丸山 10月28(月)～29(火)日

晩秋の西上州を歩きます。琴平山、笠丸山を時間をかけてゆっくり登ります。いつものように民宿旅館/不二野家(上野村 TEL0274-59-2379)に宿泊、夜は熊鍋や地物料理を楽しみます。友人家族もお誘いください。登らないで宿周辺散策可。集合JR本庄駅10時。係り/橋本雅子 kohpayam@hotmail.com 080-4189-3927。

9月の報告

■9月18日例会、講師/古野淳「私の山旅 日本の山旅 世界の山旅」

古野淳日本山岳会会長に「私の山旅 日本の山旅 世界の山旅」と題してお話しいただいた。参加24人(三水会20人+4人)。みんなが「こんなに話題の多いお話を聞いたことがない」と驚いた。1961年、福岡県・直方市生まれ。五木寛之『青春の門』の舞台になった炭鉱の町だ。福智山(901m)によく登った。九重山坊がつるがベースキャンプだった。日本大学に進み山岳部にはいった。冬山合宿を混雑する剣沢を避け内蔵助カールで行った。最初の冬山縦走は白山縦走。80/12/19



～81/01/02の15日間だった。記録的豪雪に見舞われた。昭和56年の「五六年豪雪」といわれた。黒部溪谷が好きだ。冠松次郎が十字境を発見してから95年になる。出合った時はさぞびっくりしただろう。82/03/07～22に知床半島を縦走した。羅臼岳、知床岳を越え岬の先端で折り返し、帰りは海岸沿いに歩いた。いろんな動物と出合った。厳しかったのは82/12/19～83/01/03に歩いた北窯尾根～槍ヶ岳～西穂高岳だ。16日間分の食料、燃料、装備を担ぐとどうしても40kgを超えた。

話を海外に移そう。ハイリッピ・ハラーの『チベットの七年』をワクワクして読んだ。ヒマラヤへ行くきっかけになったようだ。85年にヒマルチェリ登山隊に参加した。南稜初登頂。8000mの山より7000m後半のほうがむずかしいという。ナイフリッジが1kmも続いた。ロープをつけても風に吹かれて落ちる。1日に何回も。95年、日大のエベレスト登山隊に参加、北東稜からの登攀に成功した。エベレストに登頂したのは668番目だったそうだ。登頂ルートを紹介していただいた。エドモンド・ヒラリーが登った南東稜はノーマルルートと名付けられている。いまは登山隊の8割がこのルートを使っている。中国は北稜/北東稜。西稜から米国隊など。10を超えるルートがあり、重廣と古野の名がついたジャパニーズルートが自慢だ。

ウォルター・ウェストンの前に日本に来たラザフォード・オールコックは、英国の初代駐日総領事だ。1860(万延元)年9月、外国人として初めて富士山に登った。日英修好条約を結んだものの移動は厳しく制限されていた。自由に歩き回れる権利を求めた。近代アルプニズムとしての登山の始まりともとらえられる。そもそも英国のアルプニズムはどこからきたのか。新しい世界をみる好奇心だろう。水平線の向こうになにかがあるのか。探検がアルプニズムに繋がっていく。ユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史』を最近読んだ。ラドヤード・キプリング『少年キム』も面白かった。民俗学に興味がある……。話は尽きなかった。(文/高橋重)

■9月7～8日、上高地山研で「あんころ餅と薬湯の集い」

三水会の伝統行事「あんころ餅と薬湯の集い」を9月7日午後5時から上高地の山研で行った。参加者は12人。関西支部の会員も加わって宴会は大いに盛り上がった。台風15号が近づいていたが、「台風前の好天気」という言葉があるらしい。さらに気象庁の解説を借りれば「これまでに経験したことのない好天気」だった。明神岳—奥穂高岳—西穂高岳、焼岳、六百山などが、くっきりと見える。参加者は三々五々集合した。うち7人は松本駅前のスーパーで宴会の素材を買い込んできた。2人は前日に西穂山荘に前泊し独標・迷い沢を経て上高地入りした。宴会には、これまで料理担当を設けたが、めいめいが持ち寄りの“料理”で楽しむ形に改め、とくに女性を労働から解放。全員がひとつの輪になって時を忘れ、近況報告や将来計画などに話が弾んだ。翌日も快晴。明神池・穂高奥宮まで散策。台風を避け早めに下山した。

(担当/高橋満, 北口, 高橋重)



三水会便り 第480回 発行2019年10月1日
東京都千代田区四番町5-4日本山岳会三水会
便り担当 北口マリ子, 文責/高橋重之